

## 特定建築物年間管理実施報告書記入の手引き

- 1 「特定建築物名称」欄は、福祉保健センターへ届出している特定建築物の名称を記入してください。
- 2 「所在地」欄は、福祉保健センターへ届出している特定建築物の所在地を記入してください。

### 3 空気調和関係

#### (1) 帳簿書類

空気環境測定に関する帳簿書類の有無を○で囲んでください。

#### (2) 粉じん計較正年月日

厚生労働大臣の登録を受けた較正機関で較正した年月日を記入してください。

#### (3) 空気環境測定結果

温度、相対湿度、気流の不適数は、測定ポイント（瞬間値）ごとの不適数を計上してください。一酸化炭素、二酸化炭素、浮遊粉じん量については、測定箇所の平均値の不適数を計上してください。

[記入例]

6月16日に、A事務室、B店舗、C店舗、D店舗、E事務室でそれぞれ1箇所ずつ午前及び午後測定し、A事務室で午前及び午後相対湿度と、平均値で二酸化炭素が不適となり、B店舗で午前に相対湿度が不適となった場合

空気環境測定結果 (外気測定点を除く)		4月	5月	6月
実施日		15	/	16
不適数	温度	0/10	/	0/10
	相対湿度	0/10	/	3/10
	気流	0/10	/	0/10
	一酸化炭素	0/5	/	0/5
	二酸化炭素	0/5	/	1/5
	浮遊粉じん量	0/5	/	0/5
不適場所数		0/5	/	2/5

A事務室で2ポイント、B店舗で1ポイントが不適となった場合の不適数は、ポイント数の3となります。

A事務室で平均値が不適となれば、不適数は、測定場所数の1となります。

ここで計上する不適数は測定場所数のため、相対湿度と二酸化炭素が不適となったA事務室と、相対湿度が不適となったB店舗の2となります。

#### (4) ホルムアルデヒドの量

新築、増改築及び屋内外改修工事（屋内の改装、改修工事及び居室に接する面の防水・外壁塗装等の屋外の改装、改修工事）を行った場合に実施したホルムアルデヒド量の測定年月日を記入し、測定箇所数及び基準不適箇所数を記入してください。基準は0.1mg/m<sup>3</sup>以下です。

なお、測定は6月1日～9月30日までの間に実施します。

#### (5) 加湿装置及び排水受けの点検・清掃

それぞれの項目について、1年間に実施した回数を記入し、その結果について、異常の有無、帳簿書類の有無を○で囲んでください。異常があった場合は、その内容を記入してください。

#### 4 給排水関係

(1) 飲料水

それぞれの項目について、実施日を記入し、結果及び帳簿書類の有無を○で囲んでください。

(2) 中央循環式給湯設備

それぞれの項目について、実施日を記入し、結果及び帳簿書類の有無を○で囲んでください。

(3) 雑用水

それぞれの項目について、実施日を記入し、結果及び帳簿書類の有無を○で囲んでください（遊離残留塩素、pH値、臭気及び外観の検査については後述の「5 日常の水質管理 (3) 雑用水」欄に記載します。）。なお、水道水を用いている場合は、対象外となります。

(4) 汚水槽・雑排水槽の清掃

それぞれの項目について、実施日を記入し、結果及び帳簿書類の有無を○で囲んでください。

#### 5 清掃関係

(1) 日常清掃

実施の有無、帳簿書類の有無を○で囲んでください。

(2) 大掃除

日常清掃のほかに、統一的に行う清掃として、照明器具、換気口、壁面、及び高所の除塵、廃棄物処理系統の点検清掃等を行った実施日（二回以上実施した場合は直近の実施日）を記入し、帳簿書類の有無を○で囲んでください。また、年間実施回数を記入してください。

#### 6 ねずみ等発生防止

(1) 生息調査

生息状況の調査について、実施の有無を○で囲み、実施した場合、年間実施回数を記入し、帳簿書類の有無を○で囲んでください。

(2) 必要に応じた薬剤措置

発生防止のための薬剤措置について、実施の有無を○で囲み、実施した場合、年間実施回数を記入し、帳簿書類の有無を○で囲んでください。

(3) 効果判定

発生防止措置の効果判定について、実施の有無を○で囲み、実施した場合、年間実施回数を記入し、帳簿書類の有無を○で囲んでください。

(4) その他発生防止のための措置

上記の他に講じた措置があれば記入してください。

#### 7 日常の水質管理

(1) 飲料水

日常の水質検査について、実施頻度及び結果の概要を記入し、帳簿書類の有無を○で囲んでください。また、不適項目があった場合にその内容等を備考欄に記入してください。

(2) 中央循環式給湯設備

日常の水質検査について、実施頻度及び結果の概要を記入し、帳簿書類の有無を○で囲んでください。また、不適項目があった場合にその内容等を備考欄に記入してください。

※「残留塩素」欄について、当該給湯設備の維持管理が適切に行われており、かつ、末端の給湯栓における当該給湯水の水温が55℃以上に維持されているため検査を省略する場合、「水温○○℃（温度を記入）以上のため省略」と記入してください。

(3) 雑用水

日常の水質検査について、実施頻度及び結果の概要を記入し、帳簿書類の有無を○で囲んでください。また、不適項目があった場合にその内容等を備考欄に記入してください。

8 レジオネラ症防止対策

(1) 冷却塔

ア 使用期間

使用期間を記入してください。通年使用の場合は「通年」を○で囲んでください。

イ 使用開始前、使用期間中、使用期間後

それぞれの項目について、実施の有無、実施の状況及び使用薬剤を記入し、帳簿書類の有無を○で囲んでください。

ウ レジオネラ属菌水質検査

レジオネラ属菌水質検査の実施日、結果を記入してください。指針値を超過した場合、その後どのような措置を講じたか記入してください。

(2) 中央循環式給湯設備

レジオネラ属菌水質検査の実施日、結果を記入してください。指針値を超過した場合、その後どのような措置を講じたか記入してください。また、帳簿書類の有無を○で囲んでください。

(3) 水景設備

レジオネラ属菌水質検査の実施日、結果を記入してください。指針値を超過した場合、その後どのような措置を講じたか記入してください。また、帳簿書類の有無を○で囲んでください。